

御中元はちよいと小粋に梅錦さんちからの直送で!



純生大吟500ml (淡麗辛口)

はじけとぶような果実香とフレッシュなふくらみのある夏だけの生酒です。

3本入り ¥3000

5本入り ¥5000 (税込)

*保冷ケースに入れて冷やしたまま先様におとげします。



地ビールギフト(330ml瓶6本セット)

・ピルスナー・ボック・ヴァイツェン・アロマティックエール
・ブロンシュを段ボールの箱に詰めました。

¥3885 (税込)

●宅配便運賃(酒もビールも)

四国内 ¥525 四国外 ¥735

他にクール便代¥210がかかります

酒の宝島は、エコでお買い得な小瓶をお薦めします!



小瓶は334mlで、ほぼ350mlの缶ビールと同量です。
そして、空瓶はリターナブル(回収システム)です。
なので、捨ててしまうアルミ缶の分、お買い得です。
資源の無駄遣いをしない(アルミ缶の精製には多大な電力を必要とします)
すなわち、地球に優しい瓶ビールを、今だからこそ、見直してください。

6本カゴ入り(中味)
¥1050
(瓶、カゴ保証金¥130)

ケース(30本入り)
中味 税込 ¥5040
(瓶、ケース保証金¥400)

組み合わせは自由に♪

24本換算だと
¥4032

・アサヒスーパードライ・キリンラガー・クラシックラガー・一番搾り・サッポロ黒ラベル

お祝いの酒にうってつけ!

賜杯桜 上撰1.8L瓶 ¥1280 毎日税込

まず、名前が、縁起がいい。

そして、イラストの「賜杯桜」という文字が、勘亭流で、金色。

でもって、不織布に包まれて、金モールで絞られています。

高級感漂う風情。

(拙い印刷だとイメージが出そうにないので写真は割愛しました。)

次に味がいい。

スッキリとした障り無し飲み心地ながら、日本酒の旨味があります。

でもって、燗をつけるとこれがまたグー!

訳あり、早い者勝ち!



古い品です。「酒の宝島」で、少なくとも10年は眠っています。
恐らく、コルクが朽ちていますので、茶こしで注ぐ必要があります。
それでも良ければということで、どうぞ! その分、思い切って、半額にしちゃいます。
在庫限りで、より多くの方に愉しんでもらいたいので、お1人様1本限定でお願いします。

レミーマルタンVSOP 半瓶(350ml) 正規品 税込 ¥999



宝島おすすめの発泡酒

マグナムドライ ゴールドドライ 350缶(ケース)

毎日税込 ¥2780

元々はマグナムドライというネーミングだったので、こういう訳か、その上にゴールドドライという名前までついて、ややこしくなりましたが、まあ、マグナムドライです。

ボクは、発泡酒の中ではこれが好きです。おまけにちよこっと安い。どうですか!?

無期限図書館始めました

不要な本、雑誌をください。
欲しい本、雑誌をあげます。
(本の駅・宝島オープンです)

ボクは本が好きなんです。だから、どんどん増えていって、置き場に困るんです。
しかし、ブックオフで買ってもらうにも、値段のつかないものがほとんど。捨てるのも勿体ないし、手間だし。
そんな人、結構いるんじゃないでしょうか。出番のないままの本達が立っているかも。
そこで、考えました。不要になった本を持ち寄って、その中から読んでみたいものがあれば、気軽に持ち帰ってもらいたい。勿論、返却期限なんてありません。
そうすることで、より多くの人に読まれた方が、本達は幸せじゃないでしょうか。
持って帰るだけでも構いませんよ。(但し、1回1冊までとさせていただきますね。)

コピー機ではなく、輪転機ですので、
数10枚以上の印刷に向いています。

印刷代行始めました!

今後どんどんチラシを配っていくこと決めてから、つい先日、輪転機を久しぶりに導入しました。前のがリース切れになって以降、なんと、恥ずかしながら、こんなツールまで経費圧縮の対象だったんです。

なので、全くのおニューです。これは、自分だけで使うのは勿体ない。ならば、印刷が必要な人のお役に立ちませんか! ということでしました。但し、コピー機ではありませんので、1枚ずつのコピーには向きません。その場合はコンビニさんでもやっちゃってください。当店をお得に使うのなら、1原稿で、最低、数10枚の印刷が必要な場合です。店頭で即対応できますので、お気軽に!

*文字色はこの色一色のみです。

基本料金(原稿1枚につき) ¥100 印刷代(A4/B4サイズ) 各¥1

*例えば、100枚印刷の場合 ¥100+¥1×100=¥200(1枚当たり¥2)

用紙をお持ちでない場合、A4サイズ¥2 B4サイズ¥2.5

このコーナーのみ、単価が低いので税別表示とさせていただきます

宅地、建物について、プロの意見を聞きたい方へ

ボクが懇意にさせてもらっている一級建築設計士さんのハナシによると、宅地建物の法律は、年々変わっているようで、昔は宅地として認められた土地でも、道がかりの関係などで、今は建てられないことが、ままあるようです。例えば、中古住宅を購入する場合、建て増しは可能か? リフォームはどうするか? など、ちょっとその道のプロの意見を聞きたいなんてことはありませんか?

また、新築するに当たって、個々の条件によって、何処に依頼すればいいのかも微妙に違って来る筈です。病気に当たってそうすよね、一人の医師に全てを委ねるのではなく、別の医師の見解も聞いてみる。セカンド・オピニオンって言うんですか?

昨今それが当たり前になっているそうですね。

そりゃそうだ、たった一つの命ですもの。

万全を期すのは当たり前。

しかし、これが建築の世界になると、なかなかそうもいかない。結局、住宅メーカー数社から相見積もりを取るのが関の山、なんてことないですか?

とはいえ、いきなり一級建築設計士の門を叩くのは勇気のいることですよ。

たっかいこと言われるかもしれんし(笑)

そんな方、ご相談ください。ご紹介致します。

その道30余年、経験豊富なプロです。

代金? 勿論、無料です。お気軽に!